

## 『6月県議会』でも一般質問に登壇しました。



『6月県議会』は6/7～6/25の会期でした。今議会でも一般質問に登壇しました。詳細はホームページにアップしています。ぜひご覧ください。

### 1. 気候変動に対応する筑前海の水産業の振興について (質問概要)

①東シナ海をはじめ、外洋における水産資源を管理するための国際的な枠組みはどうなっているか。その上で、県として筑前海の資源づくり、良好な漁場づくりにどのように取り組むのか。

②筑前海の海水温の上昇など海洋環境の変化に合わせた漁業をいかに行うのか。③筑前海における、カキ養殖をはじめとする無給餌養殖をいかに振興していくのか。

### 2. ビートル「対馬混乗寄港便」の活用について (質問概要)

本年7月23日から、高速船「ビートル」の一部の便が、対馬市北部の比田勝港を經由し、国内航路としても利用できる「対馬混乗寄港便」となるが、国際航路に国内旅客が相乗りする「混乗」は全国初となる。そこで、ビートル「対馬混乗寄港便」就航を活かし、韓国から本県への誘客、更に、本県の経済、観光、文化交流などの振興にいかに取り組みのか。

## 「九州北部豪雨」災害発生から1年。更なる復興に努めます！

2017年7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨は、県内各地に大きな被害をもたらし、中でも朝倉市、東峰村では死者・行方不明者などの人的被害、多くの家屋被害、農林水産業被害が発生するなど甚大な災害となりました。いわゆる「2017九州北部豪雨」です。

この豪雨災害により、死者37人(朝倉市33人、東峰村3人、うきは市1人)、行方不明者2人(朝倉市)。家屋被害2,521件(全壊287件、半壊822件、一部損壊39件等)。道路被害640件(損壊514件、埋没126件)。橋梁被害95件(橋流29件、橋損66件)。河川被害474件(溢水9件、決壊3件、施設・設備損壊462件)。土砂災害220件(かけ崩れ220件)となり、県は積算した被害額が1,941億円を超えています。

県は、これまで2017年9月補正予算643億円、12月補正予算366億円、2018年度当初予算244億円の災害復旧・復興予算を計上し、被災市民・町民の生活再建、農林水産業並びに観光業・商工業の復興に努めています。しかし、復興はまさに緒についたばかりで、今後とも息の長い復興に努めなければなりません。

2016年4月の「熊本地震」、2017九州北部豪雨」災害ともに、自然災害はいつ、どこで、誰に降りかかってくるか判りません。常日頃より、地域の中、ご家庭、職場や学校において防災・減災・縮災の備えと訓練を怠りなく実行することが必要です。「2017九州北部豪雨」災害発生から1年、今一度、身の回りの災害について考えてみませんか。